

とらいあんぐる

「とらいあんぐる」とは…

利用者様と家族様、地域の皆様、私たちみゆきの丘の“つながり”を表した言葉です。

T999-3161

山形県上市市弁天2丁目2-11

☎023 (672) 8585

みゆきの丘

検索



新年のご挨拶

社会医療法人みゆき会

介護老人保健施設みゆきの丘 施設長 佐藤 伸二

新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとって幸多い年でありますようお願い申し上げます。

2年に及ぶコロナ禍の中、昨年に続き施設の感染防止対策にご協力いただきましてありがとうございます。昨年もなんとか無事に過ごすことができた1年でした。

また、コロナ禍に対する新しい生活様式がインフルエンザの流行を抑えるなど思わぬ効果をもたらして、その中から学ぶことを見つけだす貴重な時間でもあったように思います。スポーツ界では、コロナ禍での東京オリンピック・パラリンピックや大リーグ Otani が見るものに勇気と希望を与えてくれた歴史的な1年でもありました。

今後も、3回目のワクチン接種や経口の抗ウイルス剤の効果が期待される一方、第6波、新規の変異株の蔓延が懸念され、まだ予断を許さない時間が続くと思われれます。面会の制限など、利用者の皆様、ご家族の皆様には我慢を強いる状況が続きます。誰もが会いたいと思う人に見える日常に戻るまで、全職員が全力で利用者の皆様と当施設を守る所存です。引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、みゆき会は、昨年4月に組織の理念を「各世代への専門的な医療サービスとニーズに即した高度な介護サービスによって地域の持続的な発展を支えます」と改めました。みゆきの丘は、その新たな理念の実現のため在宅復帰支援を「強化型」から「超強化型」へ変更して、当地域の「地域包括ケアシステム」のさらなる充実を目指しています。

これからも、みゆき会病院をはじめグループの各施設と連携しながら、地域の介護センターとして、皆様が住み慣れた地で健やかな日々を送ることができるよう、またそのことを通じて当地の発展に寄与できるよう、職員一同『人のために何かできること』に意気を感じながら一層努力を重ねる所存です。

本年もご指導ご鞭撻くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

令和4年元旦

事業所ごとのGoTo みゆき祭

令和3年度みゆき祭実行委員長 中鉢 拓郎

令和3年度みゆき祭を11月10日に開催しました。夏祭りに引き続き、今回も感染対策に気をつけて実施しました。以前のように、全部署の利用者様や職員が一同に会し、出店・バザーや外部のボランティア様の音楽演奏を楽しんだりするようなことはまだまだ難しい状況でした。それでもできる範囲内で安全に元気に楽しんで頂けるみゆき祭を目指し、コロナ禍後の未来に向けて「一緒にGo Toしていきたい!」との思いを込めて今年度のテーマは「Go To みゆき祭」としました。

みゆき祭当日は、昼食に赤飯と寒鰯汁、おやつに季節の高級和菓子が振舞われ、午後からはジャンボアマビエ様と寒鰯人形が各フロアを周り、疫病退散や健康への願いを込めてお祈りしました。各フロアならではの特色ある企画で楽しまれ、笑顔溢れる時間となりました。

来年は、皆で顔を合わせ笑い合えるみゆき祭が出来るようにアマビエ様に願いを込めて…
みゆき祭の開催に関わって下さった方々に感謝いたします。

2 番街

GoToハロウィン フェスティバル



2番街ではかぼちゃの的当てゲームと音楽フェスティバルを行いました。音楽フェスティバルでは、皆さんと歌を唄いながら旅気分を味わいました。「高原列車は行く」で汽車に乗り、「北国の春」で北海道へ、さらに日本を飛び出し「憧れのハワイ航路」までも…。その他、懐かしい曲の数々に皆さん笑顔が溢れ、楽しんで歌われていました♪



3 番街

GoToギネス



3番街では、「かぼちゃゴロゴロレース」「巨大プリン作り」を行いました! かぼちゃごろごろレースでは、かぼちゃをどこまで転がすことができるかを競い、優勝者の方は4メートルを超える記録で大盛り上がりでした。

大きなプリンは、皆さん喜んで召し上がっておりまして♪



5 番街

GoTo名作



5番街では『おしん』を鑑賞しました。「これは何回見ても泣けるんだ。」とティッシュを片手に見入っていました。また、映画といえばポップコーン! 「んまいな!」と皆様おいしそうに召し上がっておりまして。



グループホーム笑顔



Go To トキベル

Go Toみゆき祭をテーマに北海道と沖縄に行ったつもりツアーを開催しました！

北海道では白い恋人を作り、沖縄ではさーたーあんだぎーを入居者様と一緒に手作りしました。それぞれの土地の名物釣りゲームも入居者様皆さん楽しまれ、笑いの絶えないみゆき祭となりました(^O^)



通所サービス

Go To 運動会



通所サービス(みゆきの丘通所リハビリ、あかね、みゆきの園)では利用者様が職員とペアになって運動会(飴食い競争、玉入れ、借り物競争)を行い、大いに盛り上がりました。

栄養コラム

no.4

冬型栄養失調という言葉を知っていますか？

管理栄養士 森谷ひなた

- ・まぶたがピクピクする
- ・口内炎がよくできる
- ・髪が抜けやすい
- ・疲れやすい
- ・外に出るとドキドキする
- ・肌が乾燥する

冬になりこのような症状が始めたら、冬型栄養失調なのかもしれません。私たちの体は、気温が下がるだけで、知らず知らずのうちにエネルギーを使っています。いつも通りに食事をしているつもりでも、冬になると栄養が足りなくなっている可能性があります。

1) 不足しやすい栄養素

寒さに耐えるため使われる ビタミンB群

筋肉が硬くなり血液の循環が悪くなるのを防ぐ 鉄・マグネシウム

2) 積極的に摂りたい食事

不足している栄養素を補うー豚肉、さばやマグロ、アサリ、大豆製品、旬の野菜(ほうれん草や根菜など)

栄養の吸収を助けるービタミンCの多い果物(みかんやいちご、キウイなど)

体を温めるー汁物や鍋料理 香辛料(生姜やニンニク、唐辛子など)



冬型栄養失調は誰にでも起こりうる症状です。年末年始で乱れてしまった食事を見直しこれらの食品を上手に取り入れ、健康な体で冬を乗り越えましょう！

みゆきの丘「在宅復帰・在宅支援」の事例をご紹介します!

紹介事例 vol.3 「口から食事がとれないけど、自宅に戻りたい!



支援相談員
齋藤 邦子

入所にあたり、奥さんからは「家に連れて帰って部屋から蔵王の山を見せたい。でも思ったより手伝いが必要で不安だ」、本人からは「家に帰りたいが妻の負担になることが心配」との思いがありました。

～今回ご紹介する在宅復帰・在宅支援のケースは、大病にて食事が口からとれなくなり、胃ろう(※1)を造ったTさん(87歳の男性)の事例です。～

はじめに

Tさんは、自宅で奥さんと2人暮らしをしていましたが、トイレに行く際に転倒し、急性硬膜下血腫を受傷・入院となりました。入院後、筋力低下からほぼ全てに介助が必要となり、また、食べ物を飲込む能力も低下し、口からの食事では必要な栄養量の確保が難しいとの医師判断にて胃ろう(※1)を造ることとなりましたが、「退院後、自宅に戻ることが心配」とご家族よりご相談をいただき、みゆきの丘に長期入所となりました。

(※1) 胃ろうとは… 口から食事のとれない人や飲込む力の無い人のために、おなかに小さな「口」を作る手術をして、そこから栄養剤を流すものです。

入所中の経過

入所後、奥さんに自宅を目指しましょうとお話し、介護指導を始めました。介護職員が主となり、オムツの当て方や拭き方等をまずは見学し、職員と共に数日間行いました。胃ろうの栄養剤については栄養士が、手順は看護師が担当し、準備するものや栄養剤を流す時の注意点等を説明しました。実際に行いながら一つ一つ確認し、ご家族が安心して介助できるように関わらせていただきました。また2人の不安が軽減できるように、外出等を重ね、短期間ではありますが在宅復帰を果たすことができました。二度目の在宅復帰時には自宅へ戻った際に「車椅子で過ごしたい」というご家族の希望がありました。リハビリ職員指導の下、実際にご本人をご家族が介助しながら車椅子の乗り移りの練習も行いました。その結果、車椅子での在宅生活が実現し、数日から1週間と少しずつ期間を増やしながらか自宅での生活が送れる様になりました。

おわりに

病気によっては、何らかの障害が残り、それによって長年送ってきた日常が続けられなくなることもあります。しかし、Tさんのように自宅で過ごしたいと希望する人はたくさんいると思います。みゆきの丘は超強化型老健施設として、多職種で連携し、少しの期間でも自宅で生活が送れるよう在宅復帰に取り組んでいます。今後の生活において不安や心配ごとがありましたら、ぜひ一度みゆきの丘相談員までご相談ください。



連絡先: 672-8585 担当: 青木、齋藤、八木澤



みゆきの丘「ホームページ」もご覧下さい。



介護老人保健施設
みゆきの丘

QRコード



ホームページ URL

<https://www.miyuki.or.jp/oka/>